

令和5年9月4日

1年生保護者・生徒の皆様へ

「こころとからだの健康アンケート（RAMP S）」事業について

県立長岡商業高等学校長

日頃、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、このたび標記について、下記のとおり実施いたします。現2・3年生は昨年に引き続き継続しておりますが、1年生の皆様の御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

## 記

### 1 事業名 「こころとからだの健康アンケート（RAMP S）」

### 2 目的及び内容

- (1) 本事業は、新潟県教育委員会と東京大学が連携し、東京大学の研究成果をもとに開発された心身の状態をチェックするためのツール（RAMP S）を活用し、平成30年度から実施されているものです。令和5年度は県立高等学校及び中等教育学校計60校で実施します。
- (2) 生徒の精神不調や自殺リスクを早期に発見し、適切な支援につなぎ、生徒の心身の健康や命を守ることが目的です。
- (3) タブレット端末の質問に答えることで、生徒の心の不調やリスクを見つけやすくなります。生徒はこころのつらさを、タブレットを通してそっと大人に伝えることができます。教員は生徒の回答を確認し、心配な項目を中心に話を聴きます。

### 3 個人情報の提供

本事業は、タブレットからブラウザを使用し、クラウド上にあるRAMP Sシステムにログインします。学年、組、番号、性別、氏名等を東京大学と連携したシステム運営法人「一般社団法人RAMP S」に事前に提供することにより、生徒のアンケート結果の評価や共有を迅速に行うことができます。

個人情報の提供に同意いただけない場合は、9月8日（金）までに、右記にある「個人情報提供不同意書」を担任を通じて御提出ください。

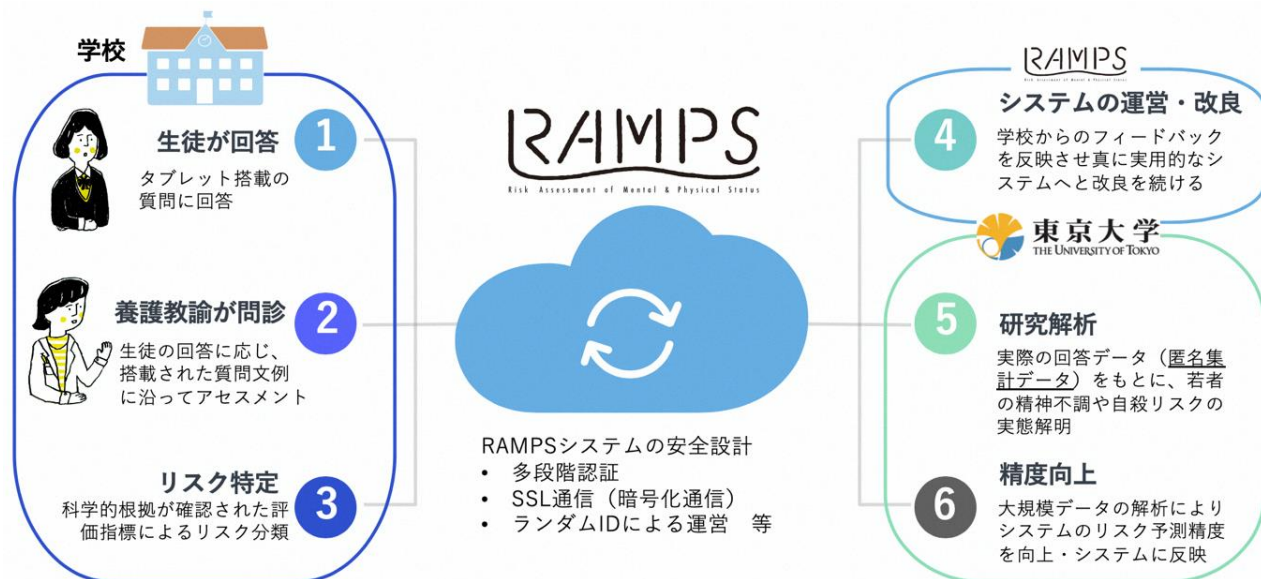
### 4 実施方法 ※右記【事業イメージ】も参照してください。

- (1) 携帯端末（iPad）から生徒がアンケートに答え、その後、養護教諭や学級担任等がアセスメント（問診）を行います。
- (2) 生徒のアンケート及び問診によって得られた回答は、東京大学の監修する国際的な尺度に基づきRAMP Sシステムにより評価され、速やかに学校に提供されます。
- (3) (1)、(2)のデータをもとに、学校は、保護者や関係機関等と連携し、適切かつ迅

速な対応を行います。※アンケートへの回答は強制されるものではありません。また、暗号化通信によりデータの機密性は守られます。

### 【事業イメージ】

クラウドシステムを介して回答データの収集、リスク同定、システムの運用・改良がなされます。また、精神不調及び自殺リスク同定の精度向上のために東京大学では匿名集計データを研究利用します。



### 【個人情報の保護について】

氏名を使用するのは、学校が利用するアカウントのみで、東京大学での研究解析等では RAMPS ID を活用し、氏名は一切使用しません。ただし、学校内でのシステムに RAMPS ID と氏名を登録するために、導入にあたって RAMPS データベースに氏名を登録する必要がありますので、御理解願います。

詳細については、別紙「『こころとからだの健康アンケート』事業に伴う東京大学でのデータ解析に関するお知らせ」を御確認願います。

5 その他 不明な点がございましたら、担当までお問合せください。

担当 教頭 川上 史人  
電話 37-8154 (直通)

----- 切り取り -----

令和5年 月 日

### 個人情報提供不同意書

「こころとからだの健康アンケート」に伴う、一般社団法人RAMPSへの個人情報の東京大学への提供を希望しません。

\_\_\_\_\_  
1 年 組 番 氏名

\_\_\_\_\_  
保護者氏名

令和5年9月4日

保護者・生徒の皆様へ

**「こころとからだの健康アンケート」事業に伴う東京大学でのデータ解析に関するお知らせ**

東京大学大学院教育学研究科健康教育学分野 教授 佐々木 司  
東京大学大学院教育学研究科 特任助教 北川 裕子

この事業は若者の精神不調および自殺リスク等を早期に発見し、必要な支援に繋げることで心身の健康の危機を未然に防ぐことを目的に行っています(詳細はこのお知らせと同日配布の文書「『こころとからだの健康アンケート』事業について」を御覧ください)。

東京大学健康教育学研究室は新潟県教育庁からの依頼を受け、本事業に対して同研究室で開発したタブレット端末搭載の心身不調アセスメントシステム (RAMPS<sup>®</sup>) を提供することで学校の健康管理業務に協力することとなりました。本業務実施に伴い、学校から得られる匿名データは、中高生の精神不調や自殺リスクの状況を明らかにし、支援の向上に役立てることを目的として東京大学で研究解析いたします。

下記に、研究解析の目的および個人情報の取り扱いについてお知らせいたします。匿名データの研究解析への御理解と御協力をお願いいたします。

**東京大学での研究解析****目的**

- ・ **精神不調や自殺リスクの判定精度を向上させ、心配な生徒への早期のケアを実現する**
- ・ **中高生の精神不調や自殺リスクの状況を明らかにし、支援の向上に役立てる**

本システムに搭載している精神不調や自殺リスクの判定精度の向上には、生徒から実際に得られるデータを研究解析することが不可欠です。実際の回答を解析することで、現代の中高生の心身の健康に関する状況を把握し、学校等での支援の向上に役立てることが可能となるからです。さらに、システムには身体不調から精神不調まで幅広く評価指標を搭載していますが、例えば「複数の質問にどのような回答パターンを示す生徒でリスクが高いか」を検討し、自殺リスク等を見逃さないための判定基準の精度向上に繋げることができるためです。

なお本事業に伴う研究解析は、東京大学倫理審査専門委員会の承認を得ており、東京大学研究倫理指針に従って実施されます。また個人情報の取り扱いとデータ解析は次のように行いますので、各個人のプライバシーは厳重に守られます。

### 個人情報の取り扱い

データの収集 東京大学では、生徒の名前や生年月日などの個人情報は一切収集しませんので、**特定の個人が識別されることはありません。**

データ解析 各データにはランダムに発生させた番号を解析用のIDとして割付け、第三者認証を受けたクラウドシステムに暗号化通信により保存されます。このクラウドからデータを暗号化通信により受信し解析を行います。なおデータのバックアップのために外部接続のないハードディスクにデータを保存し、当研究室で厳重に保管します。

### 保護者・生徒のみなさまへ

回答結果（匿名データ）の東京大学健康教育学研究室での解析に御承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで御連絡ください。御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：東京大学大学院教育学研究科健康教育学研究室 教授 佐々木司

研究実施者：東京大学大学院教育学研究科健康教育学研究室 特任助教 北川裕子

所在地：東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院教育学研究科 メール：yk@p.u-tokyo.ac.jp（北川）

東京大学教育学研究科健康教育学分野ホームページ「携帯情報端末による心の健康評価」ページ  
[www.p.u-tokyo.ac.jp/~kenkou/project/37mental\\_health\\_assesment.html](http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~kenkou/project/37mental_health_assesment.html)

※RAMPSとは、自殺リスクや精神不調の見過ごしを防ぎ、その後の必要な支援に役立てることを目的に東京大学健康教育学分野研究室で開発された心身状態評価と支援促進システムです。タブレット端末に心身状態の評価指標が搭載されており、生徒の回答をもとに、システムが自殺リスクをはじめ精神不調の状態を自動で可視化します。回答は教員が必要な支援を生徒に届けるための一つの参考としたり、また生徒自身が今の自分の状態を知ること等に役立てることができます。

RAMPSは「Risk Assessment of Mental and Physical Status = 心身状態の評価」の頭文字で、「接続経路」という意味もあります。ケアや支援への橋渡しにお願い名付けました。